



# こよみ

コールセンターからの、小さなよみもの



2021年  
12月

2021年12月30日

Vol  
155

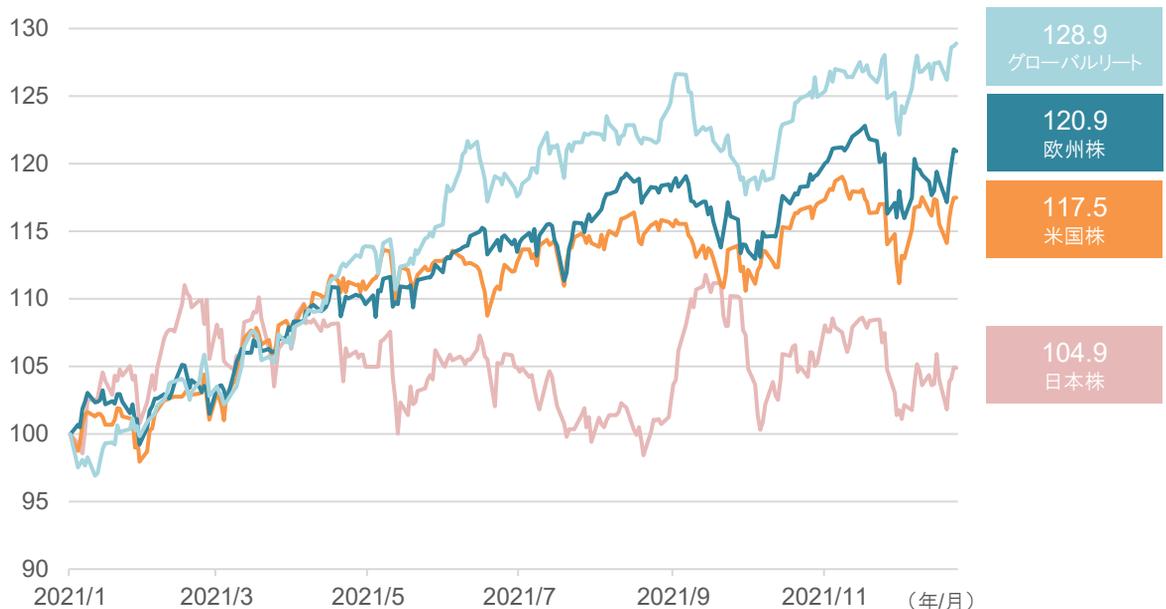
## これから始める方必見！ 「増やし方の方程式」から考える資産形成の始め方

2021年も残すところあと2日です。年初から先週末\*までの主な資産のリターンを調べてみると、最も良好なパフォーマンスだったのはグローバルリートとの+28.9%でした。「グローバルリートに投資をしておくべきだった」と後悔するばかりか、「来年はどの資産がもっとも良さそうか」と考え込んでしまう方もいるようですが、長期の資産形成という観点からはあまり感心できません。

\*2021年12月24日

コロナ禍を機に資産形成に真剣に向き合い始めた方がたくさんいらっしゃいます。資産形成のコツは「長期・分散・積立」と紹介されていますが、「正直あまりピンとこない」と感じる方もいるかもしれません。そこで今回は、資産形成の始め方について、少し違った角度から考えてみたいと思います。

■主な資産の推移(2021年1月初～2021年12月24日)



※グラフ起点を100として指数化※日本株：日経平均株価、米国株：NYダウ工業株30種、欧州株：STOXX欧州600指数(いずれも現地通貨ベース)、グローバルリート：S&P Global REIT(トータルリターン、米ドルベース)※信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成※上記は過去のものであり、将来を約束するものではありません。

■当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。



# こよみ

コールセンターからの、小さなよみもの



2021年  
12月

## お金の増やし方の方程式

お金には増やし方の方程式があることをご存知でしょうか。それは、元本×期間×利回りで表すことができます。掛け算ですから、それぞれの要素が大きくなればなるほど、解は大きくなります。ですから、より多くの元本を・より長い期間・より高い利回りで運用するのがお金を増やすコツなのですが、もちろんこのことを皆さまにお伝えしたいのではありません。

この「お金の増やし方の方程式」には、資産形成の正しい始め方のヒントが隠されています。ポイントは、3つのステップを経て資産形成をスタートするということです。

お金の増やし方の方程式

**Point**

元本

×

期間

×

利回り

いくら投じるか

どれくらいの期間  
投じるか

どれくらいの利回りが



# こよみ



コールセンターからの、小さなよみもの



2021年  
12月

## ステップ① まず方程式の「解」を自身で決める

自分自身で、この方程式の解を決めるというのが最初のステップです。つまり、いくらつくりたいかを明確にするということです。結果いくらになったかでなく、明確に目標設定をしてから臨むことが資産形成の正しい始めの一歩というわけです。また、「60歳になったときに5,000万円もっていたい」「20年後に3,000万円つくりたい」など、「いつまでに(期間)」と併せて明確にすることがポイントです。

## ステップ② 元本は2通りで考える

次に、残りの2つの要素(元本と利回り)のうち、元本について考えます。元本＝一括(投資可能額)と考える方がほとんどですが、積立と併用し2通りで用意するというのがポイントです。下図を見ると、積立は大きなパワーを秘めていることに気が付きます。「とりあえず1万円」ではなく、「(例えば5万円などの)本気の金額」で資産形成をスタートする覚悟を決めることが、次のステップです。

■ 固定利回りでの毎月積立“皮算用” —コソコソはいくらになるのか？

期間と 年利回り	10年		20年		30年	
	4%	8%	4%	8%	4%	8%
積立月額	4%	8%	4%	8%	4%	8%
1万円	148万円	184万円	368万円	593万円	696万円	1,500万円
2万円	295万円	368万円	736万円	1,186万円	1,393万円	3,001万円
3万円	443万円	552万円	1,104万円	1,779万円	2,089万円	4,501万円
5万円	739万円	921万円	1,840万円	2,965万円	3,482万円	7,501万円
7万円	1,034万円	1,289万円	2,576万円	4,151万円	4,875万円	10,502万円
10万円	1,477万円	1,842万円	3,680万円	5,929万円	6,964万円	15,003万円

※計算は1か月複利計算で、税金・手数料等は考慮していません。※資産運用に関する考え方を示すことを目的としたものであり、特定の商品の利回り等を保証・示唆するものではありません。

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。





# こよみ

コールセンターからの、小さなよみもの



2021年  
12月

## ステップ③ 自分にとっての必要利回りを知る

「いつまでに、いくらつくりたいか(ステップ①)」、「いくら投じるか(ステップ②)」が決まれば、必然的に自分にとっての必要利回りが分かります(ステップ③)。あくまでも感覚的な話ではありますが、自分にとっての必要利回りが年平均5%以上の場合、株式中心の投資信託を選ぶ必要があります。つい何に投資をしたら良さそうかということばかり考えてしまいがちですが、商品選びは必要利回りが分かってからすべきだと言えます。

資産形成を始めるときの3つのステップについてご理解いただけたでしょうか。「(もちろん変動は嫌だけど)自分にとっての必要利回りは0%だからあまり気にしない」、「(いくらつくりたいという目標のために)必要だからリスクを取っているんだ」と、前向きな気持ちを持ち取り組めるかが、資産形成の成功のカギとなりそうです。



nikko am

コールセンター

0120-25-1404

営業時間 平日 9:00~17:00